

漢字で書けるようにしておくこと。ただし、※印のところは、ひらがなでも正解にします。

1	694	22	<sup>ちやう</sup> 調	43	<sup>こんでんえいねんしざいほう</sup> 墾田永年私財法※
2	701	23	<sup>えじ</sup> 衛士	44	<sup>しやうえん</sup> 莊園
3	708	24	<sup>さきもり</sup> 防人	45	<sup>ぎやうき</sup> 行基
4	710	25	税	46	<sup>とらいじん</sup> 渡来人
5	712	26	<sup>やまのうえのおくら</sup> 山上憶良※	47	一般の人々
6	720	27	<sup>まんようしゅう</sup> 万葉集	48	<sup>みなまたびょう</sup> 水俣病
7	723	28	<sup>きぞくじしや</sup> 貴族や寺社	49	政治
8	743	29	<sup>わどうかいちん</sup> 和同開珎	50	630
9	784	30	<sup>ふほんせん</sup> 富本銭	51	<sup>いぬがみのみたすき</sup> 犬上御田鋏※
10	<sup>ふじわらのふひと</sup> 藤原不比等	31	<sup>へいじやう</sup> 平城京	52	<sup>あべのなかまる</sup> 阿倍仲麻呂
11	<sup>りつ</sup> 律	32	<sup>こくふ</sup> 国府	53	<sup>シルラ</sup> 新羅
12	2官8省	33	<sup>もっかん</sup> 木簡※	54	南東の季節風
13	<sup>こくし</sup> 国司	34	<sup>とくさんぶつ</sup> 特産物	55	<sup>てんびやう</sup> 天平文化
14	<sup>ぐんじ</sup> 郡司	35	<sup>こじき</sup> 古事記	56	<sup>しやうそういん</sup> 正倉院
15	<sup>さとおさ</sup> 里長	36	<sup>おおのやすまろ</sup> 太安万侶	57	シルクロード
16	14	37	<sup>ふどき</sup> 風土記	58	<sup>あぜくらづくり</sup> 校倉造
17	6	38	<sup>にほんしよき</sup> 日本書紀	59	<sup>がんじん</sup> 鑑真
18	<sup>くぶんでん</sup> 口分田	39	<sup>さんぜいっしん</sup> 三世一身の法	60	<sup>とうしやうだいじ</sup> 唐招提寺
19	<sup>はんでんしゅうじゆ</sup> 班田収授の法	40	<sup>こうみやう</sup> 光明	61	ア・エ・キ・ク
20	<sup>そ</sup> 租	41	<sup>とうだいじ</sup> 東大寺		
21	<sup>よう</sup> 庸	42	国を守る力		

記述1 <sup>こんでんえいねんしざいほう</sup>墾田永年私財法

記述2 新しく開墾した土地や田は永久に自分のものにしてよいとするもの。

記述3 <sup>きぞくじしや</sup>貴族や寺社や地方の豪族たちが、農民たちを使って荒れ地や山林を切り開き、私有地を増やしたことで権力が大きくなり、天皇の力が弱まり、今までの公地公民制がくずれていったこと。